

個人投資家さま向け会社説明会

三和ホールディングスの概要と取り組み

2025年11月26日

三和ホールディングス株式会社

(東証プライム・証券コード：5929)

代表取締役社長

高山 靖司



三和ホールディングス株式会社

本日本話しする内容

01 会社概要

02 三和グループの歴史

03 三和グループの売上高構成

04 日本における主要商品

05 日本における強み

06 米州における強みと主要製品

07 欧州における強みと主要製品

08 アジア事業の成長力強化

09 業績推移

10 長期ビジョンと中期経営計画

11 社会に貢献する商品・サービス

12 ESGマテリアリティとKPI

13 株価推移

14 株主還元

15 株主優待情報

16 外部からの評価

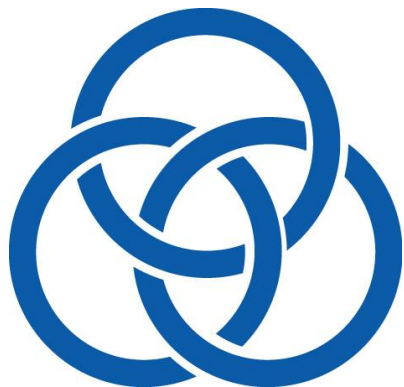
17 コーポレートサイト

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません



01 会社概要



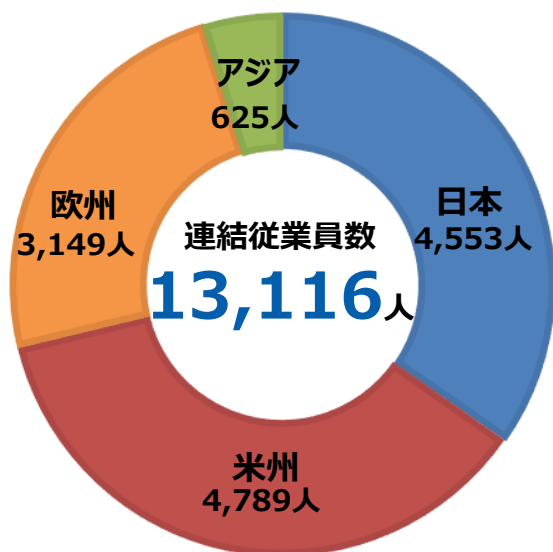
三和グループの使命

安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献します

三和グループの経営理念

- 一、お客様すべてが満足する商品、サービスを提供します
- 一、世界の各地域で評価されるグローバルな企業グループとなります
- 一、個人の想像力を結集して、チームワークにより、企業価値を高めます

従業員の地域別構成比



会社概要

設立

1956年

連結子会社

71社

連結売上高

6,624億円

営業利益

805億円

営業利益率

12.2%

展開地域

28の国と地域

生産拠点

61カ所

(2025年3月期)



三和ホールディングス株式会社

02 三和グループの歴史

1956 三和シャッター製作所として兵庫県尼崎市に設立

1963 本社を東京へ移転

1969 三和ドア工業(株)を設立し、ドア事業に進出

1970 東京・大阪両証券取引所市場第1部に上場

1986 香港・シンガポールに現地法人を設置、初の海外進出

1996 米国オーバーヘッドドア社を買収

欧州ノボフェルムグループを買収

持株会社体制へ移行

監査等委員会設置会社へ移行

鈴木シャッターを買収

2019



操業時の太田ドア工業



オーバーヘッドドア社 買収



ノボフェルムグループ 買収



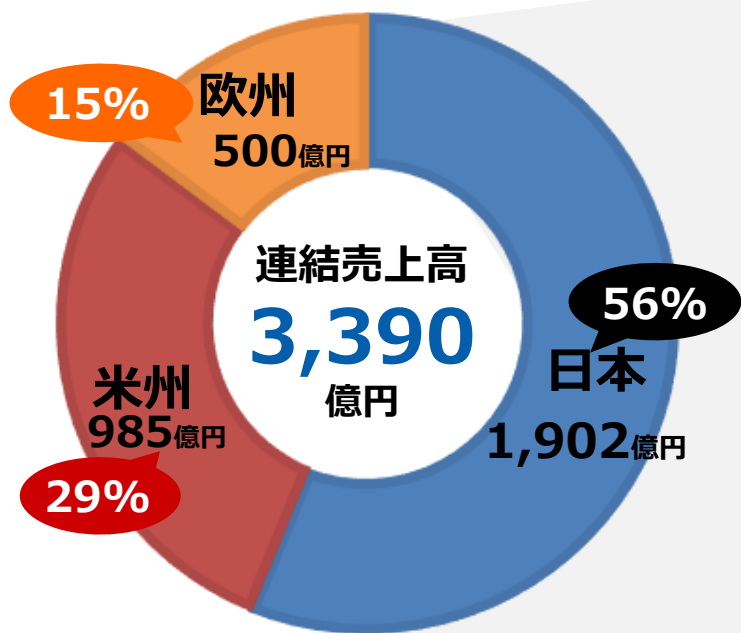
三和ホールディングス株式会社

03 三和グループの売上高構成

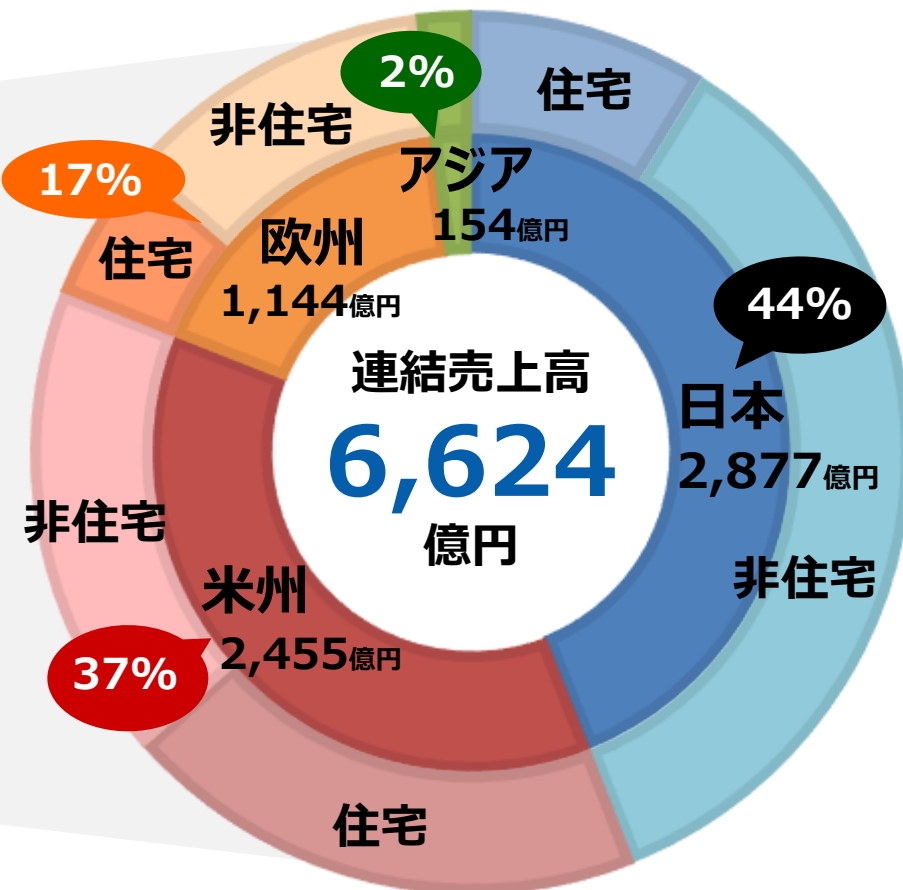
当社グループの強みである「多品種化」「グローバル化」「サービス」を継続的に強化し、グローバルトップブランドへと拡大を続けています

2024年度 売上高構成比

2014年度 売上高構成比



営業利益率 **7.8%**



営業利益率 **12.2%**

04 日本における主要商品

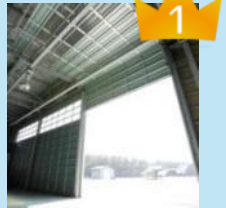
日本

👑 : マーケットポジション

シャッター製品



重量シャッター



オーバースライダー



軽量シャッター



高速シートシャッター
「クイックセーバー」シリーズ



断熱スライダー



窓シャッター
「マドモア」シリーズ



ウォーターガード
防水シャッター



高速高頻度グリルシャッター
「レジデンスグリル」



ガレージドア

ドア製品



スチールドア



マンションドア



医療施設向けドア
「スムード」シリーズ

その他製品



間仕切



ステンレスフロント



自動ドアエンジン



アルミフロント



カーテンウォール



メールボックス
宅配ボックス

05 日本における強み

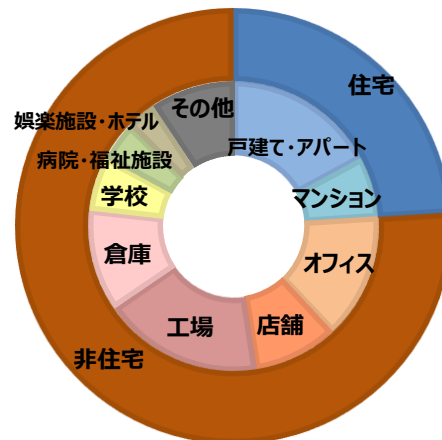
日本



特徴

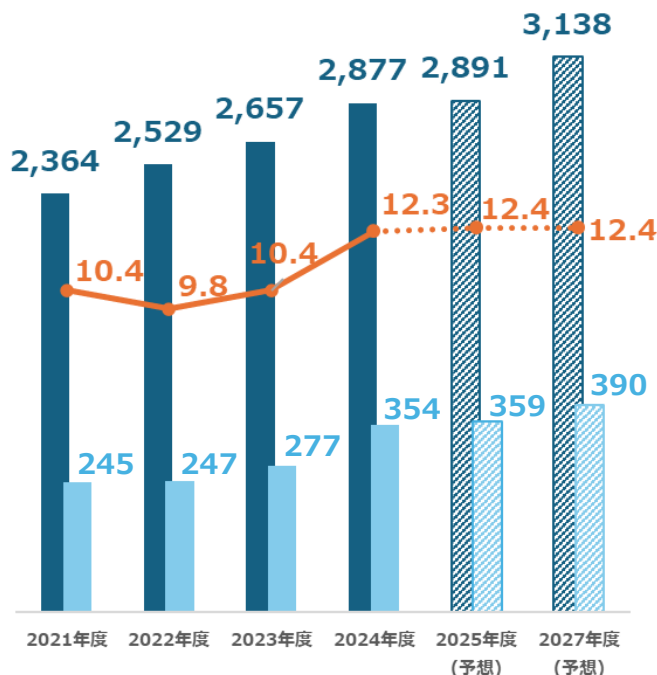
- 三和シャッターを中心とした全国に広がる販売・製造拠点網
- 施工・アフターサービスまで一気通貫のビジネスネットワーク
- 3,900名超の施工技術者を全国配置した強固な施工体制
- シャッター、ドアだけではない“多品種ラインアップ”

2024年度製品用途別売上構成
(三和シャッター)



億円

売上高 営業利益 営業利益率



市場動向

主力の非住宅向けではこの先も需要は
堅調に推移する見込み

- ・オフィス、商業施設
大都市圏において、大型再開発プロジェクトが進行中
- ・工場
国内回帰等により建設が堅調に推移
- ・倉庫、物流センター
大型物流センターの建設は高水準を維持

主な取り組み

- ・販売価格
物流費・工事費・人件費の増加分や鋼材価格上昇分の売価転嫁により、採算性を確保
- ・高付加価値商品の拡充
防災・減災・環境配慮商品やIoT技術を駆使したスマート化製品ラインアップの拡充
- ・メンテ・サービス事業
2016年より、防火設備検査が法制化され、法定検査が伸長
収益性が高い修理・メンテナンス売上は国内事業全体の約20%近くを占める

06 米州における強みと主要製品

米州 – オーバーヘッドドア社 –

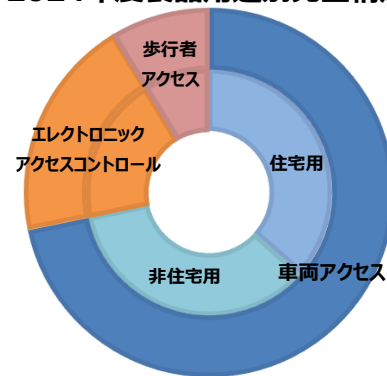
The Genuine. The Original.



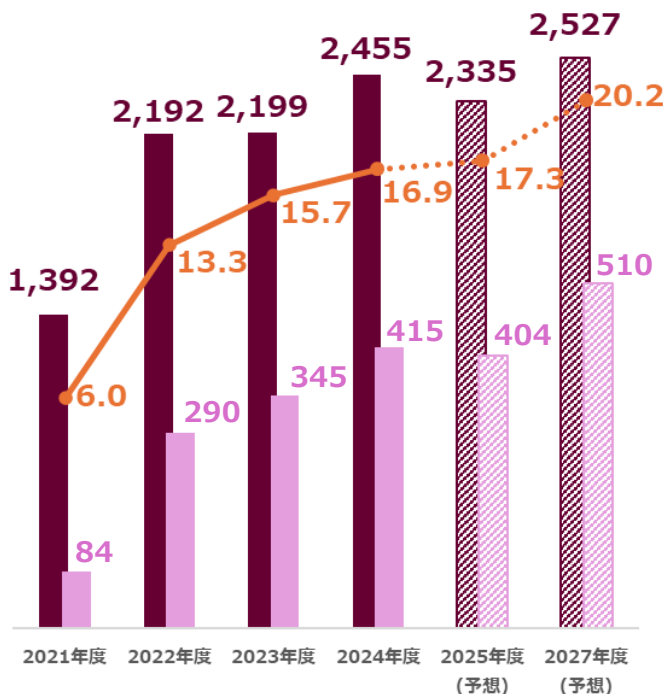
特徴

- 1921年創業の業界のパイオニア
- 商品ラインアップが豊富
- 強固な販売ネットワーク
(約450カ所の代理店／全米に広がる数千の販売店／ネット販売)
- 高いシェアを支える強靱な製造ネットワーク

2024年度製品用途別売上構成



■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率 億円



市場動向

住宅・非住宅市場とも回復は2026年から
 ・住宅向け
 金利高止まりと関税影響により市場が減速しているが、今後金利引き下げが後押し、需要回復が見込める。人口増により、長期的な需要増を見込む
 ・非住宅向け
 倉庫や半導体・自動車等の工場の建設増加が今後期待できる

主な取り組み

- ・市場シェア
新商品投入やチャネル強化によりシェア向上に取り組む
- ・販売価格
鋼材価格の上昇分を販売価格に転嫁し、高水準で販売価格を維持、高い収益性を確保
- ・コスト削減
製造・配送等の生産性改善や生産拠点最適化の推進



産業用シャッター

車両アクセス



ガレージドア



開閉機
エレクトロニック
アクセスコントロール



自動ドア

歩行者アクセス



三和ホールディングス株式会社

07 欧州における強みと主要製品

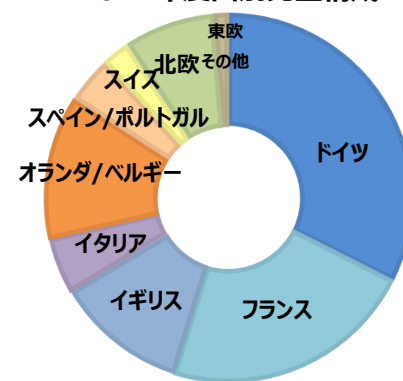
欧州 – ノボフェルムグループ –

novoferm®

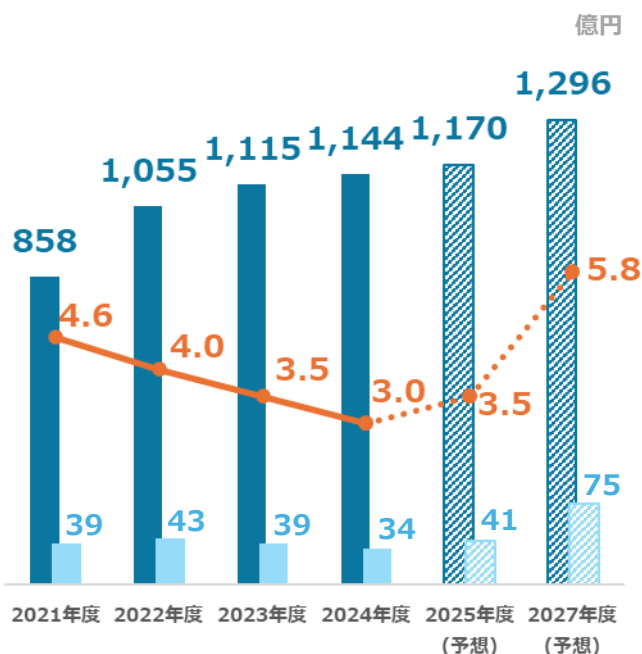
特徴

- 1955年創業の業界2位のシェア
- M&Aによりコア製品のシェアアップ
- サービス事業の強化
- 顧客視点でデジタル化されたプロセス

2024年度国別売上構成



売上高 営業利益 営業利益率



市場動向

- ・住宅向け
ドイツ・フランスなどは厳しい状況にあるが、26年以降の回復を予想
- ・非住宅向け
住宅同様建設環境は厳しいが、工場・倉庫など産業用の落ち込みは比較的軽微であり、25年に底打ちを予想

主な取り組み

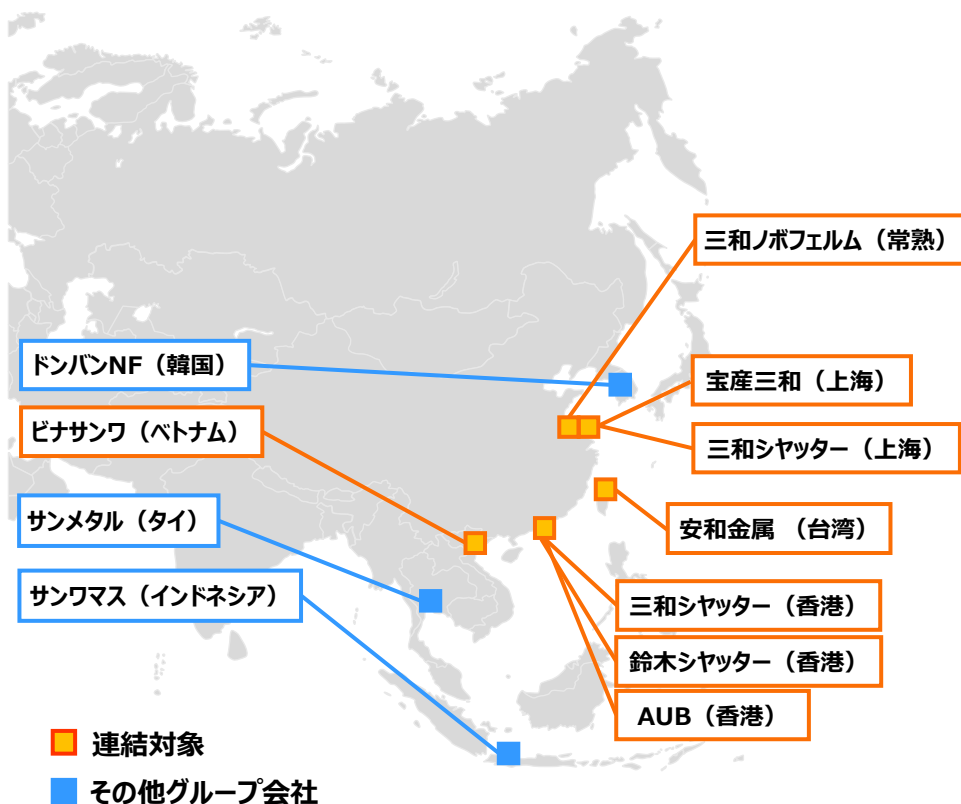
- ・ M&A戦略
シェアの低い地域において、M&Aによりシェア拡大に努める
- ・ サービス事業
産業ドアを中心にサービス事業を強化し、収益確保に努める



08 アジア事業の成長力強化

アジア

戦略 グループ各社の一体運営強化 および連結対象事業の拡大



	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	2027年度 目標
売上高	154億円	156億円	196億円
営業利益	3.7億円	5.1億円	12.5億円

特徴

- 1986年に業界に先駆けてアジア（香港・シンガポール）へ進出
- 日本の技術を活かした高品質な製品ラインアップ
- グループ各社の販路・技術力を活用
- 2022年にはアジアで初となるM&Aとして香港AUB社を買収、事業強化と領域拡大を進める

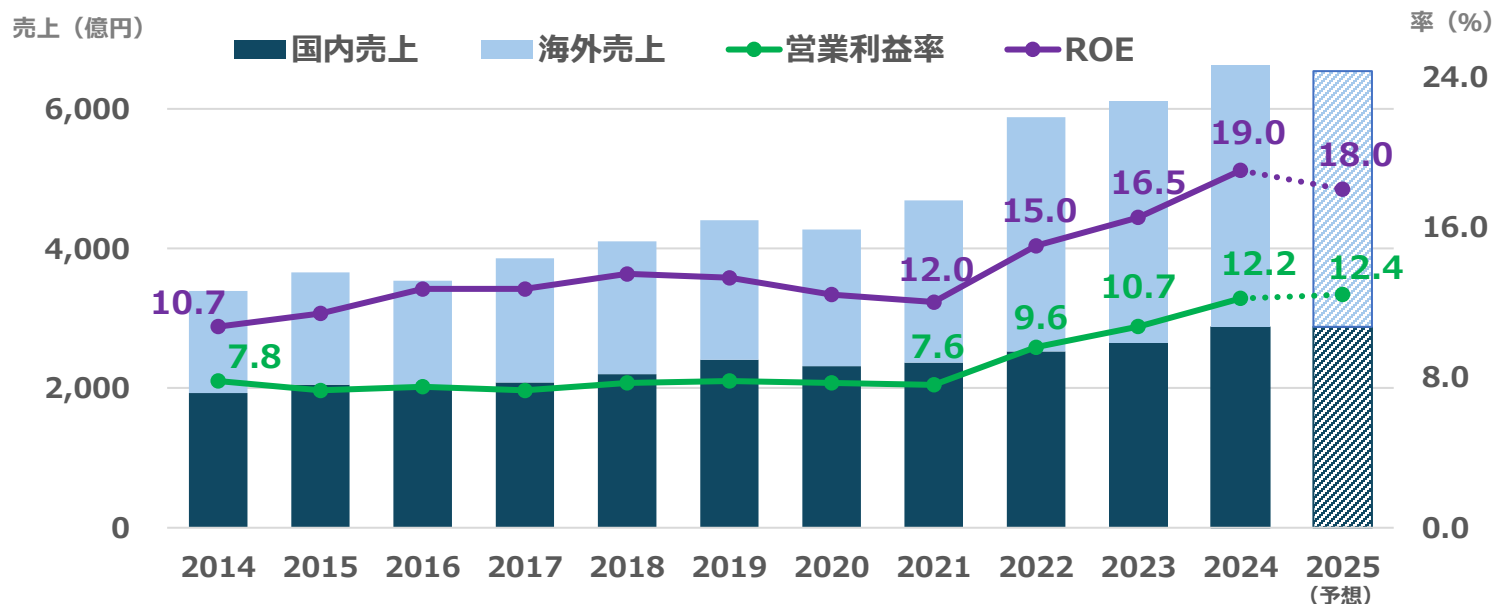
市場動向

- ・工場向け、オフィス向けなど非住宅の割合が大きい
- ・中国市場は低迷しているが、香港・台湾が堅調に推移
- ・ベトナム、インドネシアなどアセアン諸国は将来的に経済発展の可能性の高い地域

主な取り組み

- ・ローカル化の推進
- ・防火・遮熱市場への攻略

09 業績推移



- 売上高は、約**3,200**億円増加、特に海外売上高は**2.6**倍に
- 営業利益率は、**4.4**ポイント上昇

左記数値は全て2014年度と2024年度の対比

2025年度 第2四半期 決算

2025年度 第2四半期実績

売上・各利益とも期初公表を上回った
利益は、国内事業が公表値を大幅に上回り、海外事業を補って**過去最高益**となった

2025年度通期見通し

期初公表値を据え置く

米州・欧州事業は、市場の回復遅れなどにより
厳しい状況が続く見通し

好調な国内事業及び為替影響などにより期初公表値の
達成を目指す

	2024年度 通期実績	2025年度 2Q累計実績	2025年度 通期予想	中計2027 目標
売上高	6,624億円	3,092億円	6,540億円	7,500億円
営業利益	805.2億円	337.0億円	810.0億円	1,000億円*
営業利益率	12.2%	10.9%	12.4%	13.3%*
ROIC (注1)	18.5%	-	17.5%	18.5%
ROE (注2)	19.0%	-	18.0%	19.0%

(注1) ROIC=税引後営業利益(NOPAT)/投下資本 ×100

※ROICで用いる投下資本は、「株主資本+有利子負債」で算定

(注2) 株主資本コストは8%を目標

*のれん償却前

10 長期ビジョンと中期経営計画

グローバルビジョン2030

To be a Global Leader
of Smart Entrance Solutions

～ 高機能開口部のグローバルリーダーへ～

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える
高機能な開口部ソリューションをグローバルに提供し、
サステナビリティ経営と人材強化により
すべてのステークホルダーから評価される企業グループとなる

FY2025 - FY2027 中期経営計画2027

気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに
応える高機能開口部ソリューションのグローバル
リーダーへ向けた基盤を強化・拡充する

営業利益
※1,000億円

防災・気候変動(緩和・適応)
貢献商品の売上額
2,300億円

営業利益率
※13.3%

※のれん償却前

FY2022 - FY2024 中期経営計画2024

気候変動やデジタル化で変化する
社会のニーズに応える高機能開口部
ソリューションのグローバルリーダーへ
向けた基盤を確立する

営業利益
805億円
防災・気候変動(緩和・適応)
貢献商品の売上額
2,133億円

営業利益率
12.2%

前中期経営計画

新中期経営計画

2022

2024

2027

2030



三和ホールディングス株式会社

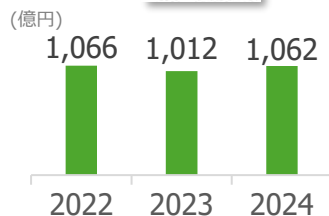
11 社会に貢献する商品・サービス

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える気候変動対応や防災に貢献する商品の品揃え強化と商品・サービスのスマート化・IoT化を推進します。

気候変動

緩和

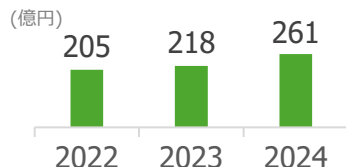
空調効率を向上させる高速シートシャッターや断熱効果のあるオーバースライダーなど、地球温暖化の進行を食い止める“緩和”に貢献する商品



2027年度目標
1,120 億円

適応

気候変動の進行に備えた防水・耐風商品など、気候変動による被害の回避・低減に備える“適応”に貢献する商品



2027年度目標
280 億円

防災

防災に貢献する商品

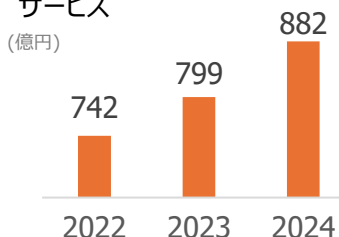
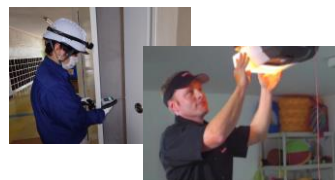
火災発生時の延焼防止に貢献する防火シャッター、防火ドア、耐火間仕切や、地震発生時の安全な避難に貢献する耐震商品



2027年度目標
900 億円

防災機能を支えるメンテナンス・サービス

社会インフラとしての防災機能の維持と、住み続けられるまちの実現に貢献するメンテナンス、点検、修理サービス



2027年度目標
1,020 億円

スマート化・IoT化

便利で快適な暮らしを実現するスマート化・IoT化商品



RemoSma
スマートフォン操作システム
(三和シャッター)



Aladdin Connect
スマートフォン操作システム (ODC)
















Homematic IP
Smart Home System
ガレージドア用操作システム (NF)

2024年度
130億円

2027年度目標
160億円

12 ESGマテリアリティとKPI

	ESGマテリアリティ	取り組みテーマ	KPI	対象範囲	貢献するSDGs
<div>ものづくり</div> <div></div>	商品、サービスを通じた 気候変動・防災への貢献	気候変動の緩和に貢献する商品売上高	1,120億円（2027年度）	連結	<div></div> <div></div> <div></div>
		気候変動の適応に貢献する商品売上高	280億円（2027年度）		
		防災に貢献する商品売上高	900億円（2027年度）		
		メンテ・サービス事業売上高	1,020億円（2027年度）		
	品質の確保・向上	各社の品質方針に沿った品質目標の達成	―――		
<div>環境</div> <div></div>	脱炭素社会へ向けた取り組み	CO2排出量(Scope1+2)の削減	FY2019比20％削減（2027年度） FY2019比30％削減（2030年度）	三和シャッター工業	<div></div> <div></div> <div></div>
	水資源の保全	水使用量原単位(工場・事務所)の削減	FY2020比30％削減（2030年度）		
	廃棄物の削減	廃棄物排出量原単位(工場・事務所)の削減	FY2020比60％削減（2030年度）		
<div>人</div> <div></div>	人材育成	1人あたり年間研修時間	38時間（2027年度）	三和シャッター工業	<div></div> <div></div> <div></div>
		デジタル教育(基礎編)受講率	90%（2027年度）		
		デジタル教育(応用編)受講人数	70人（2027年度）		
	ダイバーシティの推進	女性従業員比率	25%以上（2030年度） 15%以上（2030年度）	連結 三和シャッター工業	
		新卒女性採用比率	30%以上（毎年）	三和シャッター工業	
		女性管理職比率	20%以上（2030年度）	連結	
		男性育児休業取得率	70%以上（2027年度） 100%（2030年度）	三和シャッター工業	
		安全と健康	肥満率（BMI25以上）	30%（2030年度）	
	喫煙率		25%（2030年度）	三和シャッター工業	
	ハイリスク者受診率		100%（2030年度）		
	有給休暇取得率		70%（2027年度）		
	<div>経営基盤</div> <div></div>	コーポレート・ガバナンス	取締役会の多様性確保	ボードダイバーシティへの対応（2027年度）	
ステークホルダーダイアログ実施回数			350回（2027年度）		
人権の尊重		人権リスクの特定、除去、防止	人権デューデリジェンスの継続実施と改善（2027年度）	国内・アジア	
コンプライアンス		コンプライアンス研修受講者数	8,000人（2027年度）	国内グループ	
		コンプライアンス研修受講率	100%（2027年度）		

13 株価推移

(2025年11月13日 現在)

三和ホールディングス 株価の推移 (2020年3月末=100としたときの指数)

株価年初来高値 5,352円 (2025年5月19日)

2025年11月13日 終値 : 4,083円

(株価指数)

— 三和HD — TOPIX

2020年3月末 終値 : 844円

2020年3月末 終値 : 1,403.04

2025年11月13日 終値 : 3,359.81

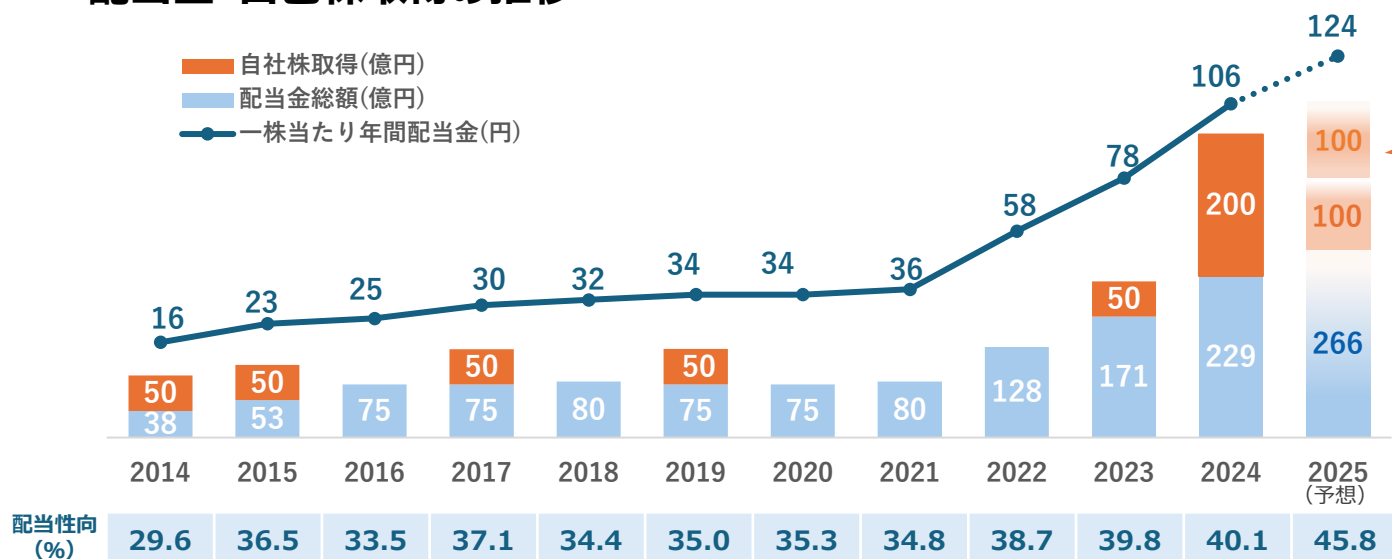
2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年11月

PER 8.7 15.1 12.0 9.5 13.7 15.1※

※11/13終値時点

14 株主還元

■ 配当金・自己株取得の推移



今期2回目の
自社株取得を発表

中間62円、期末62円
➡+18円増配
(中間+15円・
期末+3円増配)

■ 配当方針

DOE (自己資本配当率) 8%目安に

➡ROEを18%以上に維持し、配当性向を**45%**とした場合と同等の水準

■ 自己株取得

2025年度上期に**100億円**の自己株取得を完了

10月31日に新たに**100億円**を上限とする自社株取得を決定

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予想)
配当性向	%	34.8	38.7	39.8	40.1	45.8
1株当たりの当期純利益	円	103.4	149.7	196.0	264.6	270.7
P E R (株価収益率)	倍	12.0	9.5	13.7	18.0	-
1株当たりの純資産	円	912.7	1,088.9	1295.5	1499.1	-
P B R (株価純資産倍率)	倍	1.4	1.3	2.1	3.2	-

【11/13 終値時点】

PER **15.10倍**
PBR **2.63倍**



三和ホールディングス株式会社

15 株主優待情報

3月末現在の株主様を対象に、当社オリジナルのマリリン・モンローQ U Oカードをお渡ししています



100株以上保有の株主様	オリジナルQ U Oカード 500円分
1,000株以上保有の株主様	オリジナルQ U Oカード 2,000円分 ※保有期間が2年以上の株主様

三和グループでは、1979年より毎年マリリン・モンローを起用し、Q U Oカードやカレンダーなどを制作しています
マリリン・モンローが他界し、60年以上となりますが、
20世紀を代表する女優の一人として人気は高く、ご好評いただいております

16 外部からの評価

三和グループのサステナビリティへの取り組みや情報開示の姿勢が社外から評価され、国内外のESGインデックスの組み入れや様々な賞を受けるなどの評価を受けています

ESGインデックスへの選定		主な受賞・評価	
<p>MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数</p> <p>2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数</p> <p>MSCI ESG RATINGS</p> <p>CCC B BB BBB A AA AAA</p>	<p>FTSE4Good Index Series</p> <p>5年連続</p> <p>FTSE4Good</p>	<p>CDP2023気候変動「B」評価</p> <p>CDP Discloser 2024</p>	<p>2024年度日経サステナブル総合調査 SDGs経営編 ★3.5</p> <p>NIKKEI SDGs</p> <p>経営調査 2024 ★★★★★</p>
<p>FTSE Blossom Japan Index</p> <p>5年連続</p> <p>FTSE Blossom Japan</p>	<p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p> <p>4年連続</p> <p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p>	<p>大和インベスター・リレーションズ 2024年インターネットIR表彰「優良賞」</p> <p>Internet IR 優良賞 2024 Daiwa Investor Relations</p>	<p>日興アイ・アール 2024年度全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合・業種別「最優秀企業」</p> <p>企業ホームページ 最優秀サイト 2024 日興アイ・アール 業種別部門</p> <p>健康経営優良法人2025 (大規模法人部門)</p> <p>2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門</p>
<p>SOMPOサステナビリティ・インデックス</p> <p>2025</p> <p>Sompo Sustainability Index</p>	<p>S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数</p> <p>S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数</p>	<p>発行体格付</p>	
		<p>日本格付研究所 (JCR)</p> <p>AA – (安定的)</p>	<p>格付投資情報センター (R&I)</p> <p>A+ (安定的)</p>

THE INCLUSION OF Sanwa Holdings Corporation IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Sanwa Holdings Corporation BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

17 コーポレートサイト

The screenshot displays the Sanwa Holdings corporate website. The top navigation bar includes links for '株主・投資家情報 TOP', 'トップメッセージ', '経営方針', '個人投資家の皆様へ', '財務・業績情報', 'IRライブラリー', '株主・株式情報', and 'IRカレンダー'. The main content area is titled '株主・投資家情報' and features a sidebar with links to 'トップメッセージ', '長期ビジョン', '中期経営計画', and '個人投資家の皆様へ'. The central part shows the stock price: 3,960.0, with a change of -38.0 (-0.95%). Below this, there are sections for 'IRニュース' (IR News) and 'IRカレンダー' (IR Calendar). The 'IRニュース' section lists several news items, including the 2025/11/05 announcement of the 2026 3rd Quarter 2nd Half Financial Results and the 2025/10/31 announcement of the 2026 3rd Quarter 2nd Half Financial Results. The 'IRカレンダー' section lists the 2026 3rd Quarter 2nd Half Financial Results and the 2026 3rd Quarter 2nd Half Financial Results. At the bottom, there are sections for 'VISION 2030', '中期経営計画', '数字で見る三和グループ', and '事業・製品紹介'.

■ 決算説明会 動画配信

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/document.html>

The screenshot shows the Sanwa Holdings website's video streaming page for the 2026 3rd Quarter 2nd Half Financial Results. The page features a video player with a speaker icon and a '再生' (Play) button. The video title is '2026年3月期 第2四半期決算 説明会'. The speaker is identified as 高山 靖司 (Yasutoshi Takayama). The page also includes a 'CONTENTS' section with a list of topics: '2025年度 業績(実績)', '2026年度 業績(予想)', '中期経営計画2027の進捗', and '財務ハイライト'. The video player shows a progress bar at 00:00:02 / 00:18:31.

■ 個人投資家様向けページ

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/individual/>

The screenshot displays the Sanwa Holdings website's individual investor page. The page features a large image of a person in a suit holding a tablet. Below the image, there is a section titled '個人投資家の皆様へ' (Dear Individual Investors). The page includes a '三和グループについて' (About Sanwa Group) section with a grid of images and text. The 'VISION 2030' section is also visible. The page is designed to provide information and support for individual investors.

ご清聴ありがとうございました